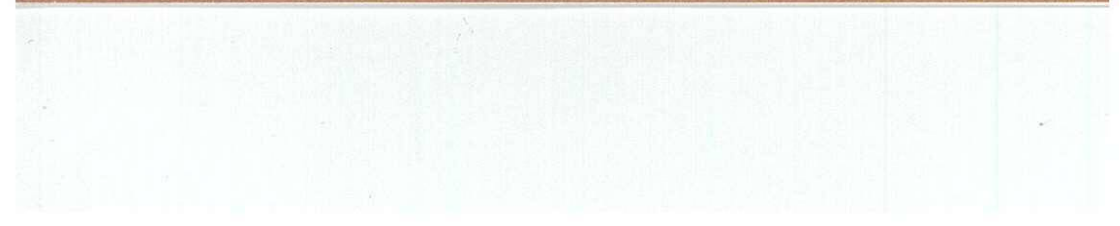


JR東日本

ことりっぷ co-Trip

房総さんぽ
北総・九十九里



歴史の町から新たな魅力を発信中の のんびりでかけたい小江戸スポット

伝統を受けつぎながら、新しいカルチャーを発信——。

江戸時代に水運業で栄えた佐原と成田道の宿場町としてにぎわった酒々井で話題のスポットを訪ねてみました。



1 2 明治時代後期建築の土蔵を丸ごとメゾネットタイプの客室としたYATA様の102号室。2019年春には客室棟がさらに増え、合計13室となる予定 3 街並み散策に出かけたくなるかわいい浴衣や羽織も用意 4 フロントロビーとレストランがあるメインのGEISHO棟 5 夕食は鉢子の魚介や地元の旬の野菜などをふんだんに使ったフレンチのコース。ランチのコース3024円～などレストランはビジターも利用可能

歴史的な商家建築を使ったレトロで新しい宿 佐原商家町ホテル NIPPONIA

香取 佐原しょうかまちホテルニッポニア

佐原中心部に点在する4つの建物をリノベーションし、2018年3月にオープン。1855（安政2）年建築で県の有形文化財の旧商家をメイン棟とし、周辺に点

在する元料亭や土蔵を客室棟として使用している。当時のままの建物や調度品と、現代的なインテリアやサービスが融合したレトロモダンな滞在を楽しんで。

古民家ホテルとフレンチレストラン

ホテル ☎0120-210-289
(NIPPONIA総合窓口) 香取市佐原1720 ①IN15:00 OUT10:00 (レストランは11:30～14:00、17:30～20:00) ②和洋9 ③1泊2食付き27140円～ ④無休(レストランは不定休) ⑤あり ⑥JR佐原駅から徒歩10分 ⑦15 A-3



GEISHO棟に隣接する蔵は所有者である中村家商店の和雑貨のショップに。伝統の房州うちわ2600円、ヘアピン各350円など



茜色に染まる印旛沼の夕日

佐原や酒々井の旅で立ち寄りたのが印旛沼。日没時には大きな夕焼け空に影絵のような富士山が眺められることも。⑧15 A-2



1 江戸時代の豪農宅を利用した曲がり家は新潟から移築したもの。2階のギャラリーでは関東近県などの陶芸家やガラス工芸家の企画展を開催 2 傘天井が美しいレトロな応接室。酒蔵見学で訪問を 3 船に酒粕を練りこんだ抹茶白玉ぜんざい648円、雑ドリンク豆乳、ブルーベリー豆乳各486円 4 工場長が考案した酒粕ソースを使う酒蔵のまかないカレー 1080円

カフェやギャラリーが話題の酒蔵 飯沼本家・酒々井まがり家

酒々井 しいぬまほんけしすいまがりや

江戸時代から約300年間「甲子」の名酒で親しまれている酒蔵。敷地内に江戸時代の曲がり家を移築して、1階を酒蔵カフェとショップ、2階をギャ

カフェエ&ショップ、クラフトギャラリーに酒蔵見学も

ラリーとして開放。カフェでは酒粕や自社農園の野菜やフルーツを使った料理のほか、一杯ずつ手で淹れる自家製の靴ドリンクなどが楽しめる。

酒蔵 ☎043-496-1001
酒々井町馬橋106 ①10:00～18:00(酒蔵カフェは～16:30、酒蔵見学は972円、要予約) ②月曜(祝日の場合は翌日休) ③あり ④JR南酒々井駅から徒歩12分 ⑤15 A-2



湯船に入れて美肌効果を楽しむ日本酒風呂1本432円、千葉県産産花生だけで練り上げる自家農園のピーナツペースト777円～などをおみやげに

佐原では約30軒の商家がそれぞれ秘蔵のお宝を展示する「佐原まちぐるみ博物館」を実施。2月上旬～3月下旬には雛人形が見られます。